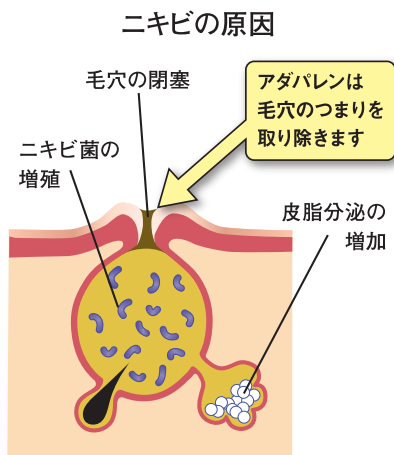


アダパレン^{ジェル}0.1%「ニプロ」 アダパレン^{クリーム}0.1%「ニプロ」 を使用される方へ

監修：康村綾子先生（医療法人本町皮フ科クリニック 院長）
＜日本専門医機構認定皮膚科専門医＞

このお薬の効果について

- ニキビの原因となる毛穴のつまりを取り除き、ニキビをできにくくします。
- 十分な効果がでるまでに時間が必要（多くは3カ月以上）なお薬です。なかなか効果があらわれなくても外用を中止せず、定期的に受診してください。
- ニキビが良くなってからも自己判断で中止せず、医師の指示に従ってください。



ご使用前の注意

次のような方は、このお薬はご使用いただけません。

- ☐ このお薬の成分によりアレルギーを起こしたことがある方
- ☐ 妊婦、妊娠している可能性のある方、妊娠を希望中の方
このお薬を使用中に妊娠した、もしくは妊娠かなと思われた場合は、使用をすぐにやめて、医師に相談してください。
- ☐ 授乳されている方



このお薬の使い方

- 1日1回（就寝前の洗顔後）、顔だけに使用します。
- 塗り忘れた場合でも、翌日に多く塗ったりせず、1日1回適量を外用としてください。

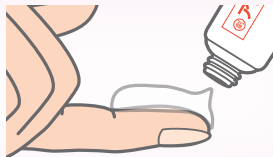


**1日1回
就寝前
洗顔後**

- 1** 泡立てた洗顔料を使い、こすらぬよう、やさしく洗ってください。洗顔後は清潔な柔らかいタオルで軽く押さえるように水分を取ります。



- 2** このお薬をニキビのできやすいところ全体にひろげるように塗ります。顔全体に塗る場合の必要量（目安）は人差し指の先端から1つ目の関節までの押し出し量（約0.5g）です。塗り終わったら、手を洗ってください。
翌朝もやさしく洗顔をし、お薬を洗い流してください。



※お薬を塗る前に化粧水や乳液などで保湿をすると乾燥等を防ぐことができます。保湿には、面皰（コメド）形成性がないことが示されているノンcomedogenic表示のある低刺激性保湿化粧品をおすすめします。

よくあらわれる副作用

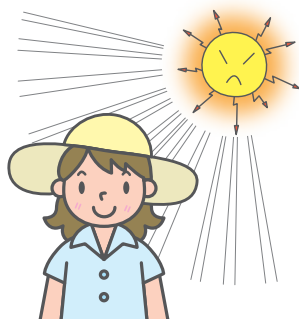
●塗ったお肌に次のような症状があらわれることがあります。

乾燥、不快感（ヒリヒリ感・熱感）、^{らくせつ}落屑（皮膚が細かくはがれる）、
^{こうはん}紅斑（赤くなる）、^{よう}そう痒感（かゆみ）

使いはじめから2週間以内にあらわれることが多く、お薬を使い続けても徐々にやわらいできます。ただし、副作用がひどい場合は使用を一旦中止し、早めに受診してください。

ご使用上の注意

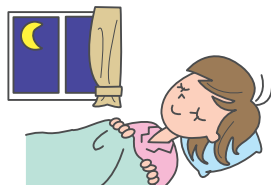
- 皮膚刺激感があらわれることが多いので、次のことを守ってください。
- ・切り傷、すり傷、湿疹があるところや、粘膜に近いところ（目の周囲、唇、小鼻など）には塗らないでください。目に入った場合はすぐに水で洗い流してください。
- ・皮膚に刺激のある石鹸や化粧品などは使用しないでください。
- ・顔に他の塗り薬を使用する場合は医師に相談してください。
- ・海や山で大量の日光をあびることや、日焼けランプでの過度の紫外線照射はしないでください。
- ・外出時には、日傘、帽子や日焼け止めの使用をおすすめします。
- ご不明な点は医師または薬剤師に相談してください。



生活習慣について

ストレス、不適切な食生活、睡眠不足、喫煙などが原因でニキビが悪化します。

ニキビの原因としては、ストレス、不適切な食生活（食事内容や食事時間）、睡眠不足、便秘、紫外線、喫煙（受動喫煙を含む）、間違ったスキンケアなどもあげられます。ニキビ治療はお薬に頼るだけではうまくいかないことがあります。これらの不摂生を改善し、規則正しい健康的な生活を送ることも非常に重要です。



保管上の注意

- 室温（1～30℃）で保存し、凍結させないでください。
- 子どもの手の届かないところに保管してください。
- 医師は患者さまの状態に合わせて処方していますので、他の人にあげたり、使用させたりしないでください。